

「第11回 全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」 準グランプリ受賞作品 静岡県立浜松東高校 勝崎実輝さん「ジップパック」が朝日新聞(2013年1月20日付)に掲載されました。

2013/01/22

「第11回 全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」

準グランプリ受賞作品

静岡県立浜松東高等学校 勝崎実輝さん「ジップパック」が
朝日新聞（1月20日付）に掲載されました

紙パック開けにくい…そうだ!

いま子どもたちは
「商」に学ぶ 10

浜松市の静岡県立浜松東高校
情報ビジネス科3年の藤崎舞
さん(18)は昨秋、自宅の紙パ
ック入りのオレシジュースを開
けていた。開け口を左右に開

き、「口」を作ろうとずあがう
まくいかな。開け口はほどほ
るになった。「あー、また失
敗。紙パックって開けにくい」
ちやうどそのころ、マーケテ
ィングの授業の課題で、商社や
サービスのアイデアを競う「ビ
ジネスアイデア甲子園」(大
阪商業大など主催)に出展する
商品の構想を練っていた。

ド式のジッパーにしてはどうだ
ろ。その方が開けやすいし、
倒れてもこぼれにくいはずだ。
アイデアを圖に描き、「ジッ
パック」と名付けて「甲子
園」に応募したところ、金1と
9.4作品のうち、最終審査に残
った6作品の一つに選ばれた。
最終審査では作品のプレゼン
テーションが求められた。藤崎
さんは、プレゼンの内容を練る
ため、地元の牛乳メーカーを訪
ね、意見を求めた。



プレゼンテーションで使
った牛乳パックを手にする
藤崎舞さん(浜松市の
静岡県立浜松東高校)

「私のアイデア、商品として
どうでしょうか」
メーカーの担当者「ジッパ
ー部分をプラスチックではなく
紙にすれば、コストが安くなりサ
イクルもできる。実現可能で
す」。高師者から「牛乳パック

が開けにくい」という習慣の電
話があるという。「実現すれ
ば、きっと喜ばれる商品にな
る」と励ましてくれた。
昨年12月、大阪商業大であっ
た最終審査では、ジッパー部分
を紙にするという案を探り入

れ、実際の牛乳パックを手はプ
レゼンした。誰がランプリに入
賞した。
再び牛乳メーカーを訪ね、結
果を報告した。商社化に向け、
牛乳パックの製造会社の人と引
き合わせてもらえることになっ
た。
藤崎さんは「自分のアイデア
が誰かの役に立てばうれしい。
スパーに『ジッパック』が
並ぶ日が来るよう頑張ります」
(涙声)

◇ 「「商」に学ぶ」は今回で終
わり、次回は24日に始めます。